

講義名	健康サービス企画運営演習			授業形態	
担当教員	山口 志郎 / 青山 将己	開講期・曜日・時限		後期 火曜日 1 時限	
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
主題と概要					
高齢化社会が進む現代の日本社会において、健康をキーワードとしたサービス産業はますます発展を遂げている。そうした中、健康サービス分野において、商品やサービスの企画や販売、またイベントの企画運営を行うことが求められており、そうした専門的な人材を育成していくことが急務な課題となっている。そこで、本講義では、ゲスト講師の課題設定や現場での実習を基に、企画運営のノウハウを演習として総合的に学習することを目的とする。					
到達目標					
本授業を通して、以下4つの項目の達成を目標とする。 健康サービスに関する専門的な知識を習得できるようになる。 健康サービスに関する実践的な問題意識を明確にすることができるようになる。 健康サービスに関する企画・立案力を習得できるようになる。 健康サービスに関する運営ノウハウを習得できるようになる。					
提出課題					
授業終了後に、その日の感想・質問・ポイント等を小レポート（レスポシ）として提出してもらう。また、授業内外で企画立案を行い、企業の方に対しプレゼンテーションを行う。個人調査として、レポート課題を課す。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
毎回の小レポート課題は、レポート評価をした後、学生にフィードバックし、レポートの書き方やクリティカルシンキングのための考え方を個別または授業全体で解説する。					
評価の基準					
平常点（授業態度、質問等） 20% プレゼンテーション・運営実習 20% 小レポート 10% 最終レポート 50%					
履修にあたっての注意・助言他					
私語厳禁、提出物の期限厳守、書籍や資料の通読。授業計画は、進行状況により多少前後、変更する場合あり。					
教科書					
使用しない。					
参考図書					
なし。					

その他	
プリント資料は必要に応じて配布する。	
授業計画	
1. イントロダクション 予習内容：シラバス、特に主題と概要、到達目標を事前に確認すること。また、キャンパスクロスの講義資料を確認し、自身が興味を持った内容をまとめたうえで、授業に出席すること。（120分） 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。（120分）	
2. ゲスト講師 予習内容：キャンパスクロスの講義資料を確認し、自身が興味を持った内容をまとめたうえで、授業に出席すること。また、ゲストスピーカーに対する質問内容を事前に検討しておくこと。（120分） 復習内容：講義資料の整理・復習をし、理解を深めること。（120分）	
3. グループワーク、企画案作成（1） 予習内容：企画案作成に向け、指示された内容について情報収集をすること。（120分） 復習内容：作成した企画案を確認し、修正すること。（120分）	
4. 企画案作成（2） 予習内容：企画案作成に向け、指示された内容について情報収集をすること。（120分） 復習内容：作成した企画案を確認し、修正すること。（120分）	
5. 企画案作成（3） 予習内容：企画案作成に向け、指示された内容について情報収集をすること。（120分） 復習内容：作成した企画案を確認し、修正すること。（120分）	
6. 学内リハーサル 予習内容：学内リハーサルに向け、発表準備を進めること。（120分） 復習内容：発表におけるフィードバックを確認し、修正すること。（120分）	
7. 企業の方へのプレゼンテーション 予習内容：プレゼンテーションに向け、発表準備を進めること。（120分） 復習内容：プレゼンテーションにおけるフィードバックを確認し、修正すること。（120分）	
8. 振り返りと企画案の修正、役割とグループ分け 予習内容：プレゼンテーションにおけるフィードバックを確認し、修正すること。（120分） 復習内容：作成した企画案を確認し、修正すること。（120分）	
9. 運営準備（1） 予習内容：運営準備に向け、指示された内容について情報収集をすること。（120分） 復習内容：作成した企画案を修正しながら、運営準備を進めること。（120分）	
10. 運営準備（2） 予習内容：運営準備に向け、指示された内容について情報収集をすること。（120分） 復習内容：作成した企画案を修正しながら、運営準備を進めること。（120分）	
11. 運営準備（3）、担当者と最終打ち合わせ 予習内容：運営準備に向け、指示された内容について情報収集をすること。また、担当者との打ち合わせに向け、発表の準備をすること。（120分） 復習内容：作成した企画案を修正しながら、運営準備を進めること。（120分）	
12-14. 運営実習 予習内容：運営実習に向け、運営準備を進めること。（360分） 復習内容：修正した企画案を修正しながら、運営準備を進めること。また、運営実習を振り返り、パワーポイントにまとめること。（360分）	
15. 振り返りとまとめ 予習内容：運営実習を振り返り、パワーポイントにまとめること。（120分） 復習内容：期末レポートに向け、講義資料の整理・復習をすること。講義を通し、最も興味・関心を持った授業内容を確認すること。（120分）	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☐ カ：実習、フィールドワーク
☐ キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
＜学科共通＞ ますます高齢化社会が進む現代社会において、子どもから高齢者までの広範囲にわたる健康分野に関する基礎知識を身につけ、健康関連産業やスポーツ関連産業で就業することができる。 健康サービス企画運営演習では、幅広い対象者に対応した健康サービスの専門知識を取得を目的としている。また、健康関連産業やスポーツ関連産業と直接授業内容が関連していることから、DPに貢献し得る科目である。 ＜スポーツマネジメントコース＞ 「する」「みる」「ささえる」の視点で、スポーツをキーワードとする関連事業分野、業種において企画運営に携わることができる。 健康サービス企画運営演習では、「する」「みる」「ささえる」の視点を盛り込んだ商品やサービスの企画を学生が考えたり、現場での実習も演習に含まれている。よって、DPに貢献し得る科目である。 健康産業やスポーツ産業などの多様な社会的背景と今後の課題と対応策について、分析、評価、企画を行うことができる。 健康サービスに関連する商品やサービスの企画を通じて、社会課題の解決を目指すことから、DPに貢献し得る科目である。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
レスポシを活用した参加型授業やQRコードを読み取り、アンケートに答えてもらいながら、学生の理解を深める授業などを展開する。	
実務経験の有無及び活用	
実務経験あり：スポーツ関連企業やスポーツイベント、健康関連産業とのネットワークを活かし、ゲスト講義の依頼や現場実習（フィールドワーク）、担当者へのプレゼンテーション機会を創出する。	
備考	